



# 長門の話題 Topics

## 長門湯本温泉で「癒され方改革」の事業創出を目指す 温泉街に事業者を呼び込む

12月1日(金)から3日(日)の日程で「長門湯本温泉事業者オーディション」の合宿プログラムが行われました。長門湯本温泉では、魅力的な温泉街になるために事業のプロジェクトコンセプトである「癒され方改革」を実現する新たな事業者を全国から広く公募する「事業者オーディション」を株式会社Y M F G ZONEプランニングが主催となつて実施しています。合宿には京都府や福岡県から公募が集まった飲食や酒販、空間演出などの8事業希望者が経験豊かな講師陣とともに温泉街での事業プランをブラッシュアップしました。



▲長門湯本温泉で事業を検討している事業者らが参加



▲温泉街を歩き、町並みや空き物件を視察する参加者

合宿のイントロダクションでは、講師陣として参加している株式会社 Umami 代表の古田秘馬氏や長門湯本温泉観光まちづくりデザイン会議の司令塔である泉英明氏のほか、星野リゾートの星野代表もテレビ電話で参加し、事業希望者らと意見交換を行いました。事業者オーディションは、2月に最終プレゼンテーションが行われる予定で、その後の事業化においても長門湯本温泉観光まちづくりに特化したファンドの活用など支援が予定されています。

## タブレット端末を使って映像制作を体験

## 中高生がPR動画を制作

12月16日(土)、市内の中高生が元乃隅稲成神社などの空撮映像を使った映像制作教室に参加し、市のPR動画を制作しました。これは市が(株)ドワンゴと共同で子どもたちのキャリア教育などを進める一環として開催されたもので、制作された映像は後日、インターネットで公開されます。



▲話し合いながら映像制作に取り組む

## 植樹を通して自然と共生する心を育て

## みんなでつくる「ハマの森」

12月5日(火)、二位ノ浜付近で、「海を守る植樹教育事業」植樹祭が行われ、日置小4・5年生や日置地区の住民など約80人が参加しました。参加者は手順を教わりながら、約1時間の作業で17種類400本の苗木を植樹。植樹した場所の愛称は、参加者により「ハマの森」に決められました。



▲子どもたちと地域住民と一緒に植樹

# 長門のPeople

## 裏表紙を飾るイラストを描き続けて12年

おんまき しんご  
尾崎 真吾 さん

(イラストレーター)  
／西深川在住)



## 旬な人

広報ながとの裏表紙を飾る「みすゞギャラリー」。イラストレーター尾崎真吾さんは、平成17年4月の広報ながと第1号からイラストを担当し、昨年の11月号で200回を数えました。「みすゞさんの詩を描くのに、どの言葉を選び、何を描くのか絞り込むことが最初は難しかった」と語る尾崎さん。描き続けるうちに詩を理解しはじめ、詩の中のキーワードを見つけて、絵にするスキルを身につけたそうで、最近では見る人が詩のイ

メージを膨らます余白を残して描くゆとりもできたそうです。「広報紙への掲載があったからこそ、200枚も描き続けることができ、自分自身の成長にもつながった」と振り返る尾崎さん。これからは512編すべての詩を描くことが目標とのこと。

尾崎さんの描く「みすゞギャラリー」展は1月13日(土)からルネッサながとで開催。「腕は未熟だがアイデアは一生懸命考え、苦労したところを見てほしい」と見どころを語りました。



▲今月号のイラストに真剣に取り組む尾崎さん

## センザキッチンが来年4月に道の駅に

## 道の駅の登録証が交付

11月27日(月)、道の駅の登録証授与式が市役所で行われ、国土交通省山口河川国道事務所 所長の廣川所長から大西市長に登録証が授与されました。センザキッチンが県内24番目の道の駅として登録され、来年4月のグランドオープンに向けて整備が進んでいます。



▲道の駅登録証を受け取る

## ながとブルーオーシャンライドwith秋吉台

## 海・山の魅力を自転車で堪能

11月25日(土)、26日(日)の二日間、長門市と美祢市をめぐるサイクリングイベント「ながとブルーオーシャンライドwith秋吉台」が開催され、延べ325人のライダーが参加。各エピソードで温かいおもてなしを受けながら、自転車で海や山の魅力を満喫しました。



▲センザキッチンからスタートする参加者